

## OUVC1 号投資事業有限責任組合が アイポア株式会社への投資を実行

2018 年 11 月 30 日

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社(以下「OUVC」)(本社:大阪府吹田市、代表取締役社長:神保敏明)を無限責任組合員とする、OUVC1号投資事業有限責任組合(以下「OUVC1号ファンド」)は、11月28日付で、アイポア株式会社(以下「アイポア」)(本社:東京都渋谷区、代表取締役:直野典彦)に対し、1億5,000万円の投資を実行いたしました。

アイポアは今回の投資によって調達した資金をもとに、ImPACT 宮田プログラム(革新的研究開発推進プログラムの中の一つの研究開発プログラム、<https://www.jst.go.jp/impact/program/09.html>)の下で大阪大学が中心となり開発したナノ粒子識別センサ技術の事業化に向けたプラットフォーム開発に取り組みます。

### ・アイポアの事業内容

アイポア株式会社は、人工知能を活用したIoT ナノ粒子センサの開発および販売を行ないます。アイポアナノ粒子識別センサを使うと、ウイルス/細菌をはじめとする生体粒子や各種工業用微粒子を、粒子1つだけの測定でそれが何であるかを識別できます。

この特徴から、すでに様々な分野の研究者、企業、政府機関などから引き合いが寄せられています。アイポアセンサを使えば、濃縮や培養プロセスを経ることなくウイルスや細菌をただちに特定することができます。これにより医療の現場での感染症診断から食品加工における品質管理など、幅広い産業での応用が期待されます。がん早期診断、DDS、環境計測、工業用微粒子生産や防疫関係まで幅広い研究者の間でも注目されつつあります。アイポアナノ粒子識別センサは、様々な分野に新たな知見をもたらす可能性を秘めています。

### ・アイポアへの投資意義

私たちの身の回りは、細菌、ウイルス、PM2.5、化学物質など、危険で有害な物質による脅威に取り巻かれています。これに備えるためには、危険・有害物質を簡便・迅速に識別するセンサシステムの開発が必要不可欠です。この課題を解決するために、大阪大学産業科学研究所 谷口正輝 教授がデバイスの研究開発を、大阪大学産業科学研究所 鷺尾 隆 教授が識別用人工知能の研究開発を、ImPACT の活動の下で中心的な役割を果たしつつナノ粒子識別センサ開発を行ないました。アイポアは ImPACT 発ベンチャーとして、この研究成果を事業化へと進める重要な役割を担います。事業化が実現すれば、生活空間における危険物質の存在、また個人の健康状態や体調変化を知ることで、様々な影響を回避し、安全、安

心、快適な社会を実現する道が開けます。

ImPACTは、ハイリスク・ハイインパクトな研究開発を促進し、持続的な発展性のあるイノベーションシステムの実現を目指したプログラムです。OUVCがその研究成果の事業化支援を行なうことは同プログラムの目的と合致し、日本のイノベーションシステムにおいて意味があるものと考えています。

## ・アイポアの概要

会社設立	2018年9月20日
事業内容	人工知能を活用したIoTナノ粒子センサの開発および販売
所在地	東京都渋谷区
代表取締役	直野 典彦(なおの のりひこ)
URL	<a href="https://aipore.com/">https://aipore.com/</a>

以上

## 【お問い合わせ先】

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社（広報担当:経営企画部）

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号 テクノアライアンス棟4階

TEL : 06-6879-4982 FAX : 06-6105-5210 E-mail : [info@ouvc.co.jp](mailto:info@ouvc.co.jp)